

ステップ1

「材質ごとの大きさの制限」を確認して、制限を超える場合はその大きさに切ってください。この大きさを超えるもの、又は10kgを超えるものは【粗大ごみ】となります。P10を参照してください。

ステップ2

市が指定、又は推奨のごみ袋に入れてください。※1日3袋まで。※1袋10kgまで。

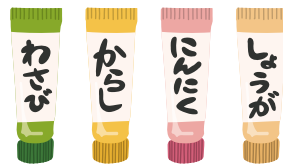
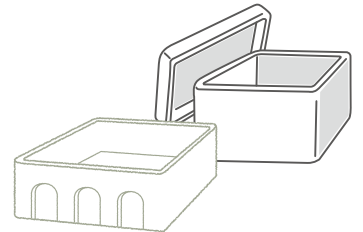
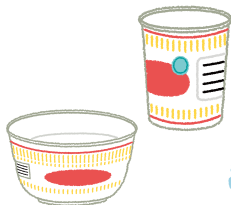
材質ごとの大きさの制限

● 布製品 ● ビニール製品	細長いもの (ゴムホース、ロープ等)	長さ1m以内に切る
	薄くて柔らかい敷物 (タオルケット、毛布、シーツ、テーブルクロス、ビニールシート等)	1m角に切る
	厚くて硬い敷物 (座布団、じゅうたん、玄関マット、風呂マット)	40cm角に切る
	人形・ぬいぐるみ	40cm角以下に限る
● 木材 ● 竹材	細長い棒状のもの (角材、剪定した枝、竹)	太さ8cm以下かつ長さ40cm以下
	分厚い板状のもの (まな板、将棋盤、碁盤、こたつ板、棚板)	厚さ5cm以下かつ40cm角以下
	家具、箱状のもの (イス、卓上ラック、アクセサリケース等)	縦+横+高さの合計が1m以下

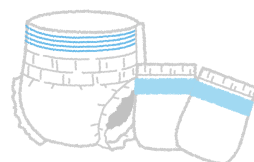
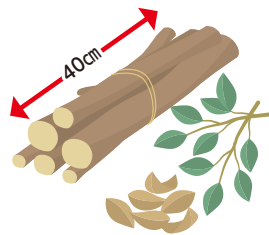
対象品目



生ごみ、貝・蟹の殻、卵パック、発泡スチロール、ラップ、歯磨き粉や練ワサビ等のチューブ容器、マヨネーズやケチャップ等の絞りだし容器、ヨーグルトやカップ麺の容器及びふた、衣類、かばん、くつ、長靴、落ち葉、剪定した草・枝、紙おむつ、ゴム類など



ラップの芯や箱は【古紙類(その他の紙)】へ



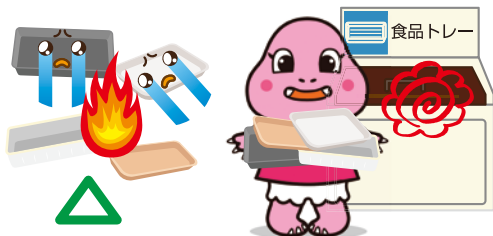
衣類はなるべく金具を外してください。ただし小さい金具(ファスナーやボタン等)は外さなくてよいです。

注意点

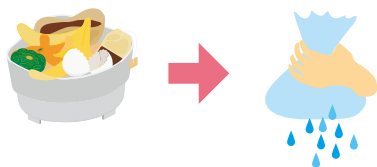
- 汚れていない紙は、「リサイクル資源」として古紙類に出してください。



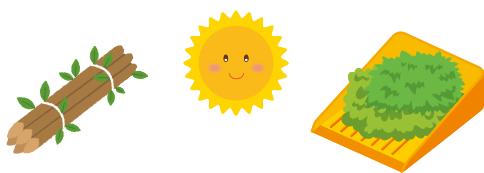
- 食品トレーは、できる限り販売店の回収ボックスに出してください。



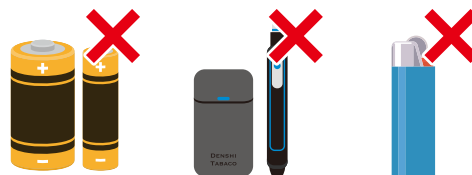
- 生ごみは、必ず水気を切ってください。



- 草や剪定くずは、天日干しで乾かしてください。



- 可燃ごみに乾電池・電子機器・使用済みライター等発火の危険性があるものは、絶対に混ぜないでください。



- マッチ、花火の未使用品は出さないでください。また、燃え殻は完全に水で消火してください。

ステップ1



ステップ2



- 油は、廃油処理パックや凝固剤を使用するか布にしみこませて、漏れ出さないようにしてください。



注意

火災防止にご協力ください！

ハンディクリーナー

電動シェーバー

電動歯ブラシ

電子タバコ

発火原因は
電子機器

充電式コントローラー

スマートフォン

モバイルバッテリー



タンク内から発生した火がごみに引火している様子
(写真：東京清掃労働組合)

**バッテリー内蔵型の電子機器は、
ごみステーションやビュークリーンおくえつに出さないでください!!**

バッテリー（リチウムイオン二次電池）は力が加わると発火します。
電子タバコやモバイルバッテリーを廃棄処分する時は、必ずP15の方法に従ってください。

ごみステーションへの出し方

P1

プラスチック資源の出し方

P2

ペットボトル缶類・ビン類の出し方

P3

古紙類の出し方

P4

可燃ごみの出し方

P5~P6

不燃ごみの出し方

P7~P8

特殊・硬質ごみの出し方

P9~P10

粗大ごみの出し方

P10

ビュークリーンおくえつへの搬入方法

P11

一般廃棄物収集運搬許可業者

P12

ビュークリーンおくえつで処理できないものの持ち込み先

P13

エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機・衣類乾燥機・家庭用パソコン・充電式小型家電の出し方

P14~P15

50音順ごみの分別早見表

P16~P38